

全大教第26回教職員研究集会に参加して

年俸制導入が大きな話題

執行委員長 市川 隆さん

今年の教研集会は9月12日～14日に電気通信大学で開催されました。私は後半の2日間しか出席できませんでしたが、「要求活動と結合した組合づくり」と「教員の待遇・労働条件と教育研究環境」二つの分科会に参加しました。休憩時、参加者の一人に「東北大学は文科省のモデル校」と半ば自嘲気味に冗談を言ったつもりでしたが、「そのようですね。西の〇〇大学、東の東北大と言われていますね」と納得されてしまいました。また、分科会では「ブラック企業東北大学」の話題も出て、恥ずかしい思いもしました。「要求活動」分科会では山口大学などの活動レポートがあ

度を打ち出しているませんが、多くの大学ですでに年俸制導入についての提案がされている模様で、多くの矛盾が浮き彫りになっています。

編集委員の

ちよっとそこまで

9月23日

紅葉真つ盛りの栗駒山に登る

3000メートルを越しながら気軽に登れる山として市民に愛されてきた御嶽山が噴火するとは、誰も想像しなかったことでしょう。同じ登山愛好家として哀悼の意を表します。噴火の数日前の秋分の日、2008年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で大きな被害を受けた栗駒山に登りました。時期的に少し早いかと思いまし



例年より早かった栗駒山の紅葉

たが、紅葉の時期も例年より早いということ、とつてもきれいな絨毯敷きの風景を目にすることができました。昔は、山で出会う人たちは中高年がほとんどで、若者といえば大学のサークルのひとたちか、家族づれしかいなかったように思いますが、最近では若い人たちの姿が多く見受けられます。恰好から入ってもいい、山を愛する人が多くなればという気持ちでいましたが、この噴火で遠ざかる人がでるのではないかと心配です。

帰りに、その地震で崩落した祭時（まつるべ）大橋のモニュメントを見てきました。私はその日、焼石岳の池の上で地震に遭いました。運よく、怪我もなく帰ることができましたが、栗駒山に登っていた人たちは大変だったろうと想像できました。

その時から、山でも地震に遭うのだと意識してきましたが、今後は噴火のことも頭に入れ、事前に情報を集め、装備も万全にして、入山届を怠らないなどの注意を払いながら登山

を楽しんでいきたいと思えます。
(高橋 京)

宮城・研究者「九条の会」 東北大「九条の会」 共催
東北大職員組合 協賛

講演会 ご案内

日時：12月6日（土）14：00～15：30
講師：今野 順夫 氏（元福島大学長）
講演題 「震災復興と憲法」
—地元研究者の役割を考えながら—

憲法9条を守り生かす 宮城の集い2014

11月15日（土）13：00～16：00
会場：仙台サンプラザホール

戦争する国にしない、させない
これからもずっと

第1部 講演

小森陽一さん 東京大学教授

第2部 合唱 宮城の歌声

菅原文太さん 語る

対談 小森陽一さん 菅原文太さん